

3：横浜みどりアップ計画市民推進会議

「横浜みどりアップ計画」の推進に向け、市民参加の組織により、みどりアップ計画の評価及び意見・提案、市民の方への情報提供等を行うことを目的として、公募市民や学識経験者などからなる「横浜みどりアップ計画市民推進会議」が2009(平成21)年に設置され、2012(平成24)年からは横浜市附属機関設置条例に基づく附属機関に位置付けられています。

市民推進会議では、みどりアップ計画の取組の検証や現地調査を行い、評価・提案を報告書にまとめているほか、広報誌を発行し、横浜みどりアップ計画の取組を紹介しています。

(1)委員構成

会議は、学識経験者、関係団体、町内会・自治会代表、公募市民により構成されています。

報告書、広報誌は、市ホームページに掲載しています。

みどりアップ 市民推進会議



	氏名(敬称略)	役職等
座長	進士 五十八	東京農業大学名誉教授・元学長
副座長	内海 宏	(株)地域計画研究所代表取締役
	池島 祥文	横浜国立大学大学院准教授
	池邊 このみ	千葉大学グランドフェロー
	石原 信也	横浜商工会議所産業振興部長
	今関 美津枝	よこはま緑の推進団体連絡協議会会長
	岩本 誠	三保市民の森愛護会会長
	奥井 奈都美	公募市民
	小野 英明	横浜農業協同組合組織部長
	国吉 純	公募市民
	関根 宏一	横浜市町内会連合会幹事
	高田 房枝	公募市民
	高橋 秀忠	公募市民
	野路 幸子	横浜市中心農業委員会委員
	村松 晶子	公募市民
	望月 正光	関東学院常務理事、関東学院大学名誉教授

(2) 市民推進会議からの評価・提案

2022(令和4)年度の報告書では、横浜みどりアップ計画 [2019-2023]の4年間の進捗状況や実績について、市民推進会議から評価・提案をいただきました。

「横浜みどりアップ計画 4か年の評価・提案」の概要

「計画の柱1：市民とともに次世代につなぐ森を育む」

- 土地所有者への働きかけが難しい状況が続く中、関係者を対象とした説明会を実施するなど、工夫しながら粘り強い働きかけを続けたことを評価します。
- 森を訪れる市民が増えた一方、利用マナーが新たな課題となっています。「横浜の森ファン」を増やすことは、市民に森との関わり方を知っていただくためにも重要であるため、引き続き、様々な発信の方法を検討しながら、子どもをはじめ、多くの市民に森の楽しみを伝えていくことを期待します。

「計画の柱2：市民が身近に農を感じる場をつくる」

- 水田保全の取組により市内の水田面積の約9割が保全されていることを高く評価しますが、今後は担い手の高齢化などの課題に対応する仕組みなど、水田景観が末永く維持管理できる方法を検討してください。
- 横浜の市民力を生かし、身近な場所で農を楽しみながら農を支援する取組をさらに進めてください。
- 地域に密着した地産地消の取組が増えることを期待します。また子どもから高齢者まで、あらゆる世代で地産地消が展開されるよう、新しいニーズに応じた支援を期待します。

「計画の柱3：市民が実感できる緑や花をつくる」

- 緑や花に親しむ取組では、地域緑のまちづくりをはじめ、地域活動による緑の取組が着実に広がっています。また、各区で市民・企業等と連携した様々な取組が進められ、緑や花への関心や市民参加が全市的に広がっており、緑あふれる魅力的なまちづくりに欠かせない市民力が育まれています。
- 横浜で開催される2027年国際園芸博覧会を、市民力をいかした横浜ならではの緑や花の取組を示す機会と捉えながら、これまでの成果や課題を踏まえ、緑や花の取組が今後も充実・発展されていくことを期待しています。

「効果的な広報の展開」

- X(旧 Twitter)による情報発信の回数も多く、話題も多種多様であり、繰り返し広報することは認知度向上に効果的と考えますので、引き続き取り組むことを期待します。
- みどりアップ計画の広報の事例や実績は積みあがってきており、今後は、2027年国際園芸博覧会関連イベントなどを利用し、市内外に向けた広報も検討してください。

(「横浜みどりアップ計画市民推進会議2022年度報告書」より抜粋)

市民推進会議広報誌

Yokohama みどりアップ Action

2009(平成21)年度より、市民推進会議広報・見える化部会では、広報誌を発行してきました。2019(令和元)年度からは、「YokohamaみどりアップAction」として、みどりアップの現場を市民目線でレポートし、その場へ「行ってみよう」「見つけてみよう」と思えるような緑の魅力を伝えています。



Vol.1 2019年11月発行

次世代へつなぐ
鴨居原市民の森



Vol.2 2020年2月発行

笑顔あふれる
農との出会い



Vol.3 2021年2月発行

花がとりもつ
人との出会い



Vol.4 2021年3月発行

森と過ごす
幸せな時間



Vol.5 2021年11月発行

農園付公園に
行ってみよう



Vol.6 2022年2月発行

みどりがつなぐ
活動のバトン



Vol.7 2022年10月発行

市民農業大学講座で学ぶ
「みどり」の助っ人



Vol.8 2023年2月発行

「みどり」の助っ人
森づくりボランティア